

会 議 名	平成 2 2 年度第 3 回港区 3 R 推進行動会議
開 催 日 時	平成 2 2 年 1 2 月 6 日 ( 月 ) 午前 1 0 時から 1 2 時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ 3 階会議室 A
委 員	( 出席者 ) 崎田座長、内藤裕子委員、北村委員、木原委員、 榊中委員、藤野委員、小林委員、鈴木委員、内藤俊之委員、 臼井委員、高木委員 ( 欠席者 ) 桜林委員、島村委員、亀田委員、横山委員、今福委員
事 務 局	北川、高橋
傍 聴 者	「なし」
会 議 次 第	区挨拶 1 報告事項 ・「親子を対象とした土づくり大作戦」 ・芝浦運河まつり ・みなと区民まつり ・区役所ロビーパネル展示会 ・古着モデル回収 2 今後の予定 ・港区に広める食の 3 R 講座～食べ物を大切に～ ・野菜の皮までおいしく料理できるお弁当教室 ・企画会議 ・リユース食器導入計画作戦会議 ・スーパーマーケット見学会 3 平成 2 2 年度全体会 ( 3 R フォーラム ) の開催 4 次年度以降の展開 5 その他
配 付 資 料	[ 配付資料 ] 1 「親子を対象とした土づくり大作戦」開催報告 2 「芝浦運河まつり」リユース食器導入実施報告 3 「みなと区民まつり」出展報告 4 「区役所ロビーパネル展示会」開催報告 5 古着回収モデル実施報告 6 今後の予定 7 平成 2 2 年度全体会 ( 3 R フォーラム ) 内容 ( 案 ) [ 参考資料 ] ・ 港区の統計データ ( 抜粋 ) ・ 港区一般廃棄物処理基本計画 ( 抜粋 )

- ・ 港区に広める食の3R講座～食べ物を大切に～」チラシ
- ・ 「土づくり大作戦」のきろく

### 主な発言・報告内容

#### 1 報告事項

##### 「親子を対象とした土づくり大作戦」について

###### 事務局からの報告

親子を対象とした段ボールコンポスト講座が9月末の「報告会」で終了した。学校や地域での更なる広がりを目的に、講座内容を取りまとめた啓発パンフレットを1月に発行し、働きかけを予定している。また、今後の展開を見据え、昨年度の講座受講者と今年度の受講者が集まる場づくりを検討している。新たな担い手の発掘も視野に入れ、進めていく予定である。

###### 主な発言

- ・ 参加した小学生のレポートが区で表彰されるなど、有意義であった。保護者も母親だけでなく祖父母や父親も参加しているのが印象的だった。今後は、都心部のマンションで取り組んでいる段ボールコンポスト事例としてアピールしたい。

##### 「芝浦運河まつり」・「みなと区民まつり」について

###### 事務局からの報告

10月に開催された芝浦運河まつりではリユース食器が1,023枚使用された。ごみの分別ステーションも昨年に引き続き実施し、来場者の協力を得て10種類の分別を行った。地域の方が中心となってイベントにおけるごみの減量や分別の徹底について先進的な取り組みを実施している。区内の他のイベントの参考事例となるよう紹介する機会をつくる。

みなと区民まつりでは、リユース食器体験と大学生による飲食物出展者へのリユース食器利用の働きかけを行った。リユース食器体験では、のべ454名が体験した。また、大学生による働きかけにより、リユース食器の導入を前向きに検討したいとする出展者を把握することができ、次年度のみなと区民まつりでのリユース食器展開に足がかりができた。

###### 主な発言

- ・ 大きなイベントにごみ分別の仕組み提案をしていくことが必要。現在は、回収業者に任せきりであるので、港区のごみ収集方法とリンクさせていく必要がある。地域のイベントごみに関する指針を出していく必要がある。
- ・ 芝商店会が出展するラーメンは会場内での食事に限られているので、リユース食器を導入しやすいように思う。

## 「区役所ロビーパネル展示会」について

### 事務局からの報告

3Rをたくさんの方に知ってもらうため、区役所の1階ロビーにて5日間の展示を行った。区役所に来た方に3Rを知ってもらうことが大きな目標の一つであった。来年3月のフォーラムではテーマを明確にし、幅広く団体に呼びかけを行う。

### 主な発言

- ・ 出展依頼をする場合には、もう少し早めに日程の連絡がほしかった。
- ・ 麻布清掃協会の女性部がエコライフ・フェアで古着バザーを行い、その取組みを紹介した。

## 古着回収モデル実施について

### 事務局からの報告

赤坂地区の公共施設で古着の回収実験を実施した。平日午前の実施だったが、回収件数は186件、回収量は1,620kgだった。今後の古着回収方法についてアンケートで尋ねたところ、行政が回収することや集団回収での実施を求める要望が多く寄せられた。次年度は、区有施設を利用した拠点回収の実施（年数回）、集団回収団体への拡充に向けたPRの強化を検討する。

### 主な発言

- ・ やってよかったという意見はあった。
- ・ 会場がわかりにくかったという声が多かった。
- ・ 集団回収での古着回収も検討されているが、古布回収というイメージがある。一方、古着の拠点回収には有効活用してほしいと、まだ着られるものを持って行くのでイメージが異なる。

## 2 今後の予定

### 「港区に広める食の3R講座～食べ物を大切に～」について

#### 事務局からの報告

誰もが口にする「食べ物」を大切に、無駄なく使う、ごみとして出す量を減らす工夫＝食の3Rを考えるために、食品ロスの実態や取り組み事例を紹介する。また参加者同士がお互いに意見を出し合い、身近にできる食品ロスの削減についても話し合いを行う。

#### 主な発言

- ・ 日本では食料自給率が低いにも関わらず、食べられる物を多く捨てすぎている。容器のリサイクルが進めば家庭からのごみで問題となるのは生ごみになる。
- ・ 本講座の参加者がお弁当教室に参加するなど、興味をつなげられるとよい。
- ・ 定員が30人しかないので、講座の内容や結果を区内全体に広くフィードバックをしてほしい。
- ・ 消費者の食品ロスと事業者の食品ロスは違うように感じる。

### 「リユース食器導入計画作戦会議」について

#### 事務局からの報告

みなと区民まつりなどで得られた結果を踏まえて、次年度の展開、大学生の関わり方などについて検討を行う。成果は、3月実施予定のフォーラムで紹介する。

#### 主な発言

- ・ 大学生によるプロジェクトは、後継者を育てたいというよりも、後輩を連れてきてほしい。学校を越えたチームのように育ててほしい。

### 「スーパーマーケット見学会」について

#### 事務局からの報告

食品リサイクル、食品ロスの削減等に取り組むスーパーマーケットを見学する。スーパーマーケットの取り組みを学ぶほか、事業者の立場としての工夫、課題など意見交換を想定。

#### 主な発言

- ・ スーパーごみでは、食品残さの占める割合が高い。なるべく食品残さを出さないような工夫をしている。スーパーでは商品の売り方を工夫し、消費者がごみを出さなくてもよいように用途別に売っている。見学会ではそういったところを見学してもらいたい。
- ・ 見学会後に意見交換ができればより有意義である。

### 3 平成22年度全体会（3Rフォーラム）の開催

- ・ 古着回収や廃食油回収をしてほしい。
- ・ 実行委員会を組織し、古着の回収をし、バザーをするのはどうか。
- ・ 事業者限定した意見交換会だけでなく、区民も参加できるようにしてほしい。消費者も事業者の取組みを知りたい。
- ・ 港区環境審議会の清掃部会との合同会合を開催するのもよい。
- ・ 大学生の部活やサークルの3Rの取組みを探して、若い世代が報告できる機会を作ってほしい。
- ・ 3R推進行動会議のような行政、区民、事業者の組織の事例（葉山等）を知りたい。

### 4 次年度以降の展開

### 5 その他

- ・ 商店連合会等の関心が薄い人たちを対象にもっと広く周知・PRをした方がよい。
- ・ 企業にとって利益につながるようなごみの削減方法を広めていきたい。
- ・ 講演会等について、30人のみに知らせるのではなく、全区民にフィードバックし広げていく仕組みが必要である。
- ・ スーパーマーケット協会として10年後のスーパーマーケットのあり方を検討し、3R等について考えている。機会があれば報告したい。